

# 令和元年度 第3回



## 表彰事例の紹介

栃木県では、NPO・ボランティア団体と企業、大学、社会福祉法人、コミュニティ団体等が地域の課題を解決するため、それぞれの特性を生かしながら協働して取り組む社会貢献活動を「輝く“とちぎ”づくり表彰（栃木県知事賞）」として表彰しています。

第3回目となる令和元（2019）年度は、最優秀賞1取組3団体、優秀賞2取組5団体を表彰しました。



令和元年度輝く“とちぎ”づくり表彰表彰式（令和元年11月7日：とちぎ協働推進大会にて）



# 最優秀賞

取組名：障がいがあってもなくてもみんなが楽しい音楽の集い

- 認定特定非営利活動法人うりずん
- 宇都宮共和大学・宇都宮短期大学学生サークル Tiny 隊
- 宇都宮共和大学子育て支援研究センター Tiny



障がいの有無に関わらず楽しく参加♪



舞台上で出演者と踊る子どもたち



スタッフ皆で力合わせ大成功!!

## 取組内容

- ◆ 平成 25 (2013) 年 9 月取組開始
- ◆ 障がいの有無に関わらず、赤ちゃんからおとなまで誰もが共に楽しめる音楽コンサートを毎年継続して開催
- ◆ できる限り社会的障壁をなくし、多様な参加者が十分に楽しみ満足できる時間を提供するため、各団体が互いに連携し、環境整備や対応を工夫
- ◆ 開催にあたっては、全体のプロデュースや連絡調整など、Tiny が統括し、学生サークル Tiny 隊が準備や当日運営の中心的役割、うりずんは、障がい児者への合理的配慮に関わる事前の環境調整や当日の要配慮者へのサポートを行うなど、それぞれの特性を効果的に活用
- ◆ コンサートでは、高い音楽性を保ちながら、参加者に配慮した参加型音楽プログラムの実施、参加者への事前説明や会場ロビーでの作品展示等を通して参加者の理解共有などの工夫を行う

## 成果

毎年約 200 名の来場者を迎え、令和元（2019）年度のコンサートは、約 300 名が来場されました。

多様な参加者に対する配慮と工夫により、障がい児者やそのご家族、地域の子どもたちや住民の方々など、すべての人々にとって満足度の高い活動となっています。また、この活動で経験を積んだ Tiny 隊の学生が、卒業後は地域で保育者や音楽療法士、介護福祉士として活躍しています。

## 活動の展望

広報活動に更に尽力し、地域のたくさんの方に知っていただき、多くの参加者を迎え、より一層地域に根ざした活動として盛り上げていきたいです。

## 評価のポイント

参加機会の少ない障がい児者や家族への機会提供という共通の目的のため、各団体のノウハウやアイデア、ネットワークなどを活かし、成果をあげているという点が評価されました。関わった学生の人材育成という観点や、各団体の活動範囲などをうまく融合させることにより、更なるネットワークや地域への広がりが期待できます。

## 輝く“とちぎ”づくり表彰制度（令和元（2019）年度）

### ■表彰の対象となる取組

- 次に掲げる要件をすべて満たす取組であること
- ・ 栃木県内に事務所を有する NPO・ボランティア団体が主体となり、企業、大学、コミュニティ団体等との協働の取組であること
- ・ 栃木県内で現在継続中の取組であること
- ・ 行政機関からの委託による取組ではないこと



# 優 秀 賞

取組名：地域の力と ICT を活用した那須地域の魅力発信

- 黒田原放送協会
- 那須地域編集部
- 一般社団法人 nasu lab.



地域イベントでのラジオ体験ブース出展



インターネットラジオ放送の様子



ライター育成講座の様子

## 取組内容

- ◆ 平成 30 (2018) 年 1 月取組開始
- ◆ 観光地でありながら、インターネット上の情報発信のインフラや魅力的なコンテンツが不十分、情報発信の担い手不足という課題を解決するため、インターネットラジオ「だっばラジオ」の放送、Web メディア「NaSuMo」の運営を実施
- ◆ 幅広い年代の地域住民がパーソナリティやライターを務め、地元ならではの個性豊かな情報を発信、彼らを通じた地域のにぎわい創出、勉強会の開催や人材交流により人材育成を行うなど、相互に連携した取組を展開
- ◆ 黒田原放送協会や那須地域編集部は、それぞれラジオパーソナリティや Web ライターを統括し、番組や記事の制作を行い、nasu lab. は、取組全体のプロデュースやプラットフォームの管理運用を担当

## 成 果

令和元 (2019) 年 10 月現在、ラジオは 12 名のパーソナリティにより毎日放送、視聴回数は月に約 5,000 回、Web は 15 名のライターにより記事数 37、表示回数は月に約 10,000 回となっています。ツールを通して各団体が連携して情報発信し、地域を巻き込むことで、地域内交流が進みました。勉強会や人材育成により、地域による主体的な情報発信の意識向上にもつながりました。

## 活動の展望

番組の質の向上、パーソナリティ増加、チャンネル登録者数の増加を目指し、発信力を高めていくとともに、常に話題創出を意識し、取組を継続することで外部からの来訪者の取り込みにもつなげていきます。

## 評価のポイント

情報発信者として地域の人々を巻き込むなどの工夫により、地域の活性化につながっているという点が評価されました。継続した取組により、地域参加の輪が徐々に広がり、地域住民の主体的な情報発信や活動を通じて、地域全体の魅力の底上げにつながっていくことが期待されます。

### ■ 評価項目

創意性、連携度、成果、継続性・発展性の観点から総合的に評価

### ■ 応募方法

自薦又は他薦

### ■ 応募期間

令和元年 5 月 20 日～令和元年 7 月 19 日

その他、詳細はホームページをご覧ください。

輝く“とちぎ”づくり表彰

検索



# 優 秀 賞

取組名：地域全体に笑顔が広がる清掃活動

- ナルク栃木「とちの実会」
- 株式会社マルハ



ナルク会員ご自宅の清掃



窓ガラス拭き掃除



「ぼ・ぼ・ら」で3者協議

## 取組内容

- ◆平成29(2017)年5月取組開始
- ◆地域における高齢者支援の充実を図るため、団体ならではのきめ細やかな対応と企業の専門技術を活かした清掃活動を実施
- ◆ナルクの会員同士の助け合い事業の一環である高齢者宅の清掃活動に、ビルメンテナンス業を営むマルハの専門技術や人材を活用し、両者が協働して実施
- ◆とちぎボランティアNPOセンター(ぼ・ぼ・ら)も含めた3者による協働の意識共有と相互理解に努め、より充実した活動を目指し、協議を継続

## 成果

ナルクの清掃活動として、利用者の満足度が向上し、これまでの活動に深みと広がりがありました。また、マルハとしては、企業の社会貢献への思いを実現でき、参加した社員の活動を通じた交流や地域ニーズの発掘などにより、社員のモチベーション向上や事業拡大にも結びつけることができています。

## 活動の展望

マルハの業務活性化やナルクにおける会員活動の充実につなげるとともに、お互いの協働理念と思いを尊重しながら、無理なく活動を継続することにより、地域の人が安心して暮らしていけるよう努めていきます。

## 評価のポイント

きめ細やかなニーズ把握やノウハウなど、互いの特性を活かし連携することにより、課題解決につながるだけでなく、各団体の活動や事業においても新たな取り組みなどの相乗効果が生まれているという点が評価されました。とちぎボランティアNPOセンターが橋渡しとなって実現した取組という点も、中間支援組織の存在意義が認識されました。

問合せ 栃木県県民生活部県民文化課県民協働推進室  
〒320-8501 宇都宮市塙田 1-1-20  
電話 028-623-3422 FAX 028-623-2121